

# みつくら

令和 5年 4月15日 第384号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 生産森林・分取造林組合が総会

大瀬川生産森林組合（菅原清昇組合長、組合員139名）と大瀬川分取造林組合（菅原清昇組合長、組合員132名）では2月24日付けで書面議決総会が行われた。両組合共通の事業として、4月に大瀬川地区山林火災予防活動で高井沢のY字路で啓発活動を行ったほか、6月に花巻森林組合との懇談会を実施している。懇談会では森林の現状や、今後の保全について意見が交わされた。11月には、花巻農林振興センターから林業指導普及員を招いて「森林経営計画」について研修を行っている。分取造林ではほかに、新山地区の山林検見も実施し現状を把握した。

## 7区で自主防災講演会を開催

石鳥谷第7区自主防災会（畠山幸男会長）は2月26日に7区自治公民館で自主防災講演会を開催した。当日はコロナ感染防止のため参加者を絞り、当役員と民政・児童委員2名、9区自主防災会から3名が参加して18名で行った。講師には花巻市自主防災アドバイザーで防災士でもある伊藤吉守さんと、花巻市総合政策部危機管理課防災対策監の白井雅高さんを招き、2時間にわたる講演を頂いた。講演では熊本地震を例に挙げ、大瀬川地域内の県道13号線沿いに走っている「北上低地西縁断層」の危険性も話されて、万が一その活断層が活動すれば震度7程度の揺れに襲われるとのことだった。地震だけでなく、近年は温暖化の影響とみられる豪雨災害も全国で多発しており、過去に経験したことがない災害に、いつ、どこで遭遇するかわからない。7区には花巻市のハザードマップで土砂災害危険地域に指定されている箇所もあり、参加者はみな真剣な表情で話を聞いていた。会場の壁に大瀬川活性化会議が制作した「大瀬川地区ハザードマップ」や「緊急連絡網」を見た伊藤さんは、「良く出来ている表ですね」と褒めていた。最後に、減災の為に「自助」と「近助」、「共助」、「公助」を日頃から身につけ、自分の身は自分で守る意識と

備えが大切だと締め括った。

## 株式会社「くまプロ農産」を設立

熊谷和紀さんは、3月1日に「株式会社 くまプロ農産」を設立した。さっそく熊谷さんに設立について話を伺った。「現在水稲が約16町歩、麦が2町歩（受託を含む）を作付けし、ほぼ一人で行っていますが、大瀬川でも近年、高齢化による離農者や、離農希望者が増加傾向のために受託者を探さないと田畑が荒れるのが目にみえています。現在私一人による耕作管理ではこれ以上の受託は無理と感じています。また、大瀬川では水稲ばかりでなく、野菜や花卉栽培（ハウス・露地）、さらに肥育経営も減少傾向になっているのが現状です。現在計画中の基盤整備事業では農地の集積や集約をすることで地権者の負担を極力少なくし、耕作者の機械化による省力化を踏まえた方策が練られていますが、完成までにはまだ数年かかると思われ、地域的にも新たな後継者育成の場が求められていると感じています。そこで個人経営から集団経営を目指し、昨年から普及センターやJAにアドバイスを頂いて会社設立となりました。会社設立に際しては、将来的に通年雇用や6次化産業を行う事も考慮すれば、農業法人等では規制があるので株式会社として設立しました。今後は、地域住民が集いながら耕作放棄地や空いているハウス、畑の有効活用を考慮した経営を目指し、手伝って頂ける仲間も募集していますのでご協力をお願いしたい」熊谷さんの話からも、確かに農業従事者の高齢化が顕著になってきた今、新たな発想で多面的なビジョンを構築し、地域全体で農業を維持する必要に迫られている。

## 葛丸川で水難救助

3月24日に大瀬川地内の葛丸川で、運転中のトラクターと共に川下に30m流される水難事故があった。トラクターを洗車しようと川に入ったためだが、当日は折しも雪解け水が葛丸ダムに多く流入したため、上限水位を超え、通常の放流では間に合わず越流状態であり、葛丸川も増水して流れも急であった。当人が通報し幸いにも消防署員に無事救助された。昨年の7月23日に金ケ崎町で「農地・水」関係で発生した「ため池の草刈り作業中に死亡事故」を受け、岩手県では緊急安全対策文書を県内全組織に配布している。川や沼、ため池での作業は必ず二人以上で行い、ライフジャケットの着用や命綱を使用するなど安全点検と安全確認をするようにと通知がされているが、くれぐれも事故には気をつけたい。

## あじさいの会で「落語鑑賞会」

あじさいの会（板垣福子会長、会員25名）では、3月14日に大瀬川振興センターでふれあいサロンを開催し37名のお年寄りが集まった。今回は二人の落語家を招いての「落語鑑賞会」で、高座と座布団、めくりを運び込み、演目は東和町在住の満月亭星鴉（ほしがらす）さんが「洗剤」と「左甚五郎」の

2席を披露。また、花巻市街に在住で石鳥谷町内の福祉施設に勤務している満月亭星布団（ほしぶとん）さんは、「マッサージ」の演目を披露した。サロンに参加した熊谷律夫さんは「何年か前にも星鴉さんの落語をここで聞きましたが、今回もとても面白かったです」との感想であった。あじさいの会は8区のボランティア団体で、平成9年に町社会福祉協議会が独居老人を対象に昼食会を開く事業を展開した時に組織したもので、初代会長は板垣智恵子さん。その後、平成28年には菅原美津子さんが会長となり、令和2年から板垣福子さんが引き継いでいる。

## 小学校新入学は初めて一人

令和5年度大瀬川からの石鳥谷小学校入学生は、9区の菅原時生（ときお）さん（菅原雅幸さん宅）一人で、大瀬川小学校が発足した明治7年以降最も少なかった。大瀬川の1年生入学者の推移は明治7年から大正8年までは10～15名、大正9年に初めて20名となり、大正12年には37名を記録し、以後35～40名で推移していた。最も多かったのは昭和23年度（熊谷善志さん達）で44名であった。以後は減少に転じ、昭和54年度の新入学が12名となったところで、クラス編成が出来ず複式学級の恐れがあって、大瀬川小学校は石鳥谷小学校へ合併している。その後も減少は止まらず、初めて2名となったのは平成20年。その後2～6名で推移していたが15年を経て遂に今年度1名となった。いずれ近年中に大瀬川から小学校への入学生0人の年が来ると思われる。

## 高速道側道の舗装工事が完了

市道大瀬川高速道側道1号線（市道林線～西栄ノ上家）の側溝工事320mが3月22日に完了した。この事業は、平成20年に大瀬川活性化会議が市に「高速道路側道の側溝が壊れているので修理してほしい」と要望したのが始まりであった。それ以前に一部分の舗装がなされていたが、路線全部に舗装を延長して欲しいと変更し、要望から15年を経て完了した。これによって雨降りや冬期間の生活道路の不便が解消された。

## 盛岡和賀線の歩道工事に6100万円の予算

工事開始から3年目に入った県道盛岡和賀線の歩道工事に令和5年度6100万円の予算が計上された。今年度の工事は、御所森付近の抜根と市道薬師堂線T字路までの盛り土や舗装工事が行われる。御所森入り口から市道薬師堂線T字路までの延長は約420m。

## 季節の小窓

大瀬川で最初の「こぶし」は3月27日に咲き始まり、4月7日には地域内が満開となった。桜の開花も間近となり、運動公園内のライトアップも4月1日から点灯している。

# みつくら

令和 5年 4月15日 第384号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 板垣さんが消防で知事功績章

板垣章郎さんに、3月16日消防表彰で知事功績章が授与された。

板垣さんは花巻市花城町の出身で、大瀬川に来られて4ヶ月後の平成7年10月に板垣弘さんの誘いで石鳥谷町消防団第2分団第1部に入団した。以後、平成23年4月に花巻市消防団第13分団第1部班長、平成27年に同第1部長、令和元年には花巻市消防団第13分団本部団付部長として現在活躍中で、昨年は県消防協会花巻支部長表彰も受けている。

大瀬川からの消防活動における知事表彰は、手元にある資料ではこれまで平成4年に辻村勝俊さん、平成17年に細川敏郎さん、平成28年に畠山敏広さんがいる。

## 市消防団副団長に板垣さん

4月1日付けで花巻市消防団副団長に板垣光善さんが発令された。板垣さんは、昭和57年に石鳥谷町消防団第二分団第一部に入団し、その後平成13年には第2分団第1部班長、平成17年に第2分団第1部長、平成19年に花巻市消防団第13分団副分団長、平成21年には同団長を勤め、令和元年から花巻市消防団本部長であった。

板垣さんはこれまで数々の表彰を受け、平成21年に県消防協会長表彰、近年では「岩手県民の警察官・消防職団員（産経新聞、岩手めんこいテレビ主催）」の表彰も受けている。大瀬川から副団長に就かれた方は石鳥谷町消防団時代に辻村勝俊さんと藤原米光さんがいる。

## 入学・卒業おめでとう大会と自転車教室を開催

大瀬川地区子供育成会（菅原一禎会長）では3月16日、大瀬川振興センターで3年ぶりに新入生から卒業生、父母ら約40名が参加して入学・卒業おめでとう大会を行った。

菅原会長が「昨年も思う様には活動が出来ず苦しかったですが、今日は、久しぶりに皆さんに会えて大変うれしいです」と挨拶した。続いて卒業生の7区の菅原煌太さん・西館椿稀さん、8区の玉山太一さん・畠山ひよ理さんに会長から記念品が贈られ、4人からは中学生になつての抱負が述べら

れた。各学年にも記念品が贈られた後、新1年生が紹介され、菅原時生さんが元気に「頑張ります」と一言抱負を述べた。

因みに今年の小学生は、1年生が1名、2年生が5名、3年生が5名、4・5・6年生がそれぞれ1名の14名となっている。

閉会後は、3年生以上の自転車教室が行われ、自転車の安全な乗り方のDVDを上映。続いて、交通指導員の菅原房子さんと佐藤倉吉さんから「自転車は便利な乗り物だが体がむき出しの為に危険な乗り物なので、きちんとルールを守って乗って下さい」と話があった。また、自転車をステージに上げて、点検の基本は「ブタハシャベル」でブ：ブレーキ、タ：タイヤ、ハ：ハンドルと反射材、シャ：車体、ベル：鐘）と佐藤さんから説明があった。その後、練習用の横断歩道を敷いて高く手を挙げて右・左・また右を見て渡る練習を全員で行った。

## 9区の4団体が総会

9区では、3月18日に4団体の総会が行われた。昨年まではコロナ禍で書面議決による総会であったが、3月13日からマスクの着用が緩和されたことに伴い、3年振りに対面での総会となった。

まず最初は、下大瀬川美土里の会（高橋義晃代表）の総会が会員数147人中、本人出席52人、委任状68人で総会成立宣言の後、議長に藤原美宏さんを選出して議事に入った。各議事は満場一致で可決されたが、最後に高橋代表より、「次年度は策定した活動期間5年の最終年度となり、今後の下大瀬川美土里の会の方向付けも合わせて検討したい」とあった。

次に第9区自治公民館（熊谷武忠館長）の総会が行われ、熊谷館長から「コロナ禍で親睦事業が最初の1年しか出来なかったのは残念でしたが、それでも公民館利用状況は変わりなく嬉しく思います」と挨拶の後、総会成立宣言され同じく議長に藤原美宏さんを選出、5件の議案が満場一致で可決された。

その後、第9区自主防災会の総会となり、同日3回目の藤原美宏さんを議長に選出し、4年度の事業と収支報告書など4件の議案が可決された。

最後は、第9区農家組合（熊谷政子組合長）の総会となり、総会成立宣言の後、熊谷組合長から「田植え後の低温と出穂期の日照不足等で作況指数9.9となり、玄米品質も劣った年でした。また、コロナ禍による事業縮小の中、今後の農業についての研修会が開催できました」と挨拶があった。最後の議長も藤原美宏さんにお願ひし、5件の議案が満場一致で可決された。

3年ぶりの合同総会で、普通ならばこの後は懇親会となるのだが、飲食を伴う会合は見合わせのため、各自折詰とお酒を手手に手に帰路についた。

## 7区と8区は各総会が書面議決

7区と8区では、3月末日までにコロナ禍のために各総会が書面議決された。

第7区自治公民館（菅原清孝館長）での事業報告では、ふれあい広場の花壇の耕起・花植え・草刈り・剪定・撤去の5回資

源回収（毎月回収・・・計2万8千円）の報告があった。

第7区自主防災会（畠山幸男会長）では、事業としてリーダー研修会への参加、講演会の開催を行ない、災害時に備えヘルメットにLEDヘッドライトの取付とLEDランタン（2個）を購入したと記載されていた。

第7区農家組合（菅原京子組合長）では、年々増加する鳥獣被害対策研修会に30名が参加したと報告があり、3団体とも全戸の賛成で3月末までに結果を報告している。

第8区農家組合（板垣由喜組合長）の事業報告では、8月に営農ビジョンを作成し、12月には研修会を開いてJA石鳥谷支店平野管理課長から当面の農業課題についてと、奥州市の「(株)上小田代」代表から農業経営についての講演を聴いている。ほかに生活部では「洋風しめ飾り」作りを行った事などが報告されている。

第8区自治公民館（菅原洋二館長）では、8区花壇の植栽や資源回収を5回、軽スポーツ大会（ポッチャ）、みずき団子作りなど総額約17万2千円の決算報告がなされた。

第8区自主防災会では、6月に行った防災備品の点検の他はコロナ禍のために思うような活動が出来なかったと総括している。

第8区自治会は、大瀬川公葬地駐車場（700㎡、約200坪）のみの地権を有する団体で、登記との関係から平成22年に設立したもの。管理も大瀬川公葬地管理運営委員会が行っているため、毎年事業報告は無く、繰越金1円の資金管理団体の様を呈している。因みに駐車場は第8区自治会が地権団体であるが、公葬地の地権団体は花巻市となっている。

## 計 報

久保電家の菅原重勲さんは3月26日に84歳で亡くなりました。菅原さんで思い出すのは、グランドゴルフが趣味で町内の大会に数多く参加した事でした。7区でチームの人数が揃わなくて棄権した場合でも、他のチームから声をかけられ一人で出向かれたりした方でした。

菅原さんは酒屋働きも長く務められ方で、17歳の時に青森県の二北酒造店で働いてから、平成10年に千葉県の飯田酒造店まで実に41年間も酒造に携わって来られました。その間に南部杜氏銚衡試験に合格し、南部杜氏として活躍もされました。

また菅原さんは、消防団員としても長く活躍されたほか、農業機械士の資格を岩手県知事から得て、農業機械に関する安全知識や基本的操作技術、保守管理に関して普及もされていました。

菅原さんに関しては、記録に残っているだけでも第7区行政区長、第7区自治公民館副館長、第7区第二納税貯蓄組合長、第7区農家組合長、大瀬川高齢者クラブ副会長など多くの役職で地区に貢献されています。また、日本綱引連盟審判員の資格も取って普及にも貢献されました菅原さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。